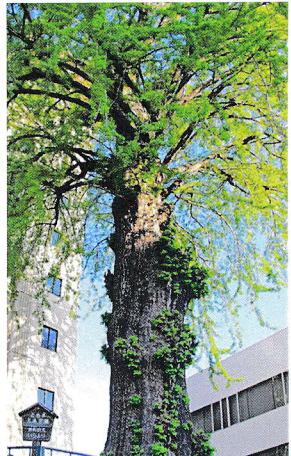


特定非営利活動法人 宇都宮市知的障害者育成会会報



おおいちゅう

令和7年3月31日発行（第59号）

福祉サービス利用は何のため?

理事長 池本 喜代正

先日、障がいのある子（成人）を持つ保護者たちの話し合いの場で、全く福祉サービスを受けていないという方達がいました。そのお子さん（Aさん三十歳代）は軽度な知的障がいがありますが、小・中学校では通常の学級で学び、そして一般の高校を卒業し、現在は一般就労しているとのことです。Aさんと家族の生活は現在のところ、特に問題はないそうです。お母さんとして、「うちの娘は障がいが軽いため、何もサービスが受けられない」と捉えていたようでした。しかし、話し合いの中で「Aさんだって療育手帳を有しているならば、移動支援を利用することができるんじゃない」と提案がなされ、市役所と相談するという道が開けました（その後、保護者は障がい福祉課に相談、登録）。

して外出の支援を行うものです。例え
ば本人が一人でデパートにショッピング
に行くときにも利用できます。これ
までは保護者と一緒に行っており、特
に必要ないと考える方も少なくないで
しょう。でも本人にしてみると、自分
のペースで自分の好きなショッピング
にいき、ぶらぶら見て歩くことを楽しみた
いかもしれません。私も以前知的障が
いのある人と大学生とでショッピング
モールで買い物をしてフードコートで
自分の好きな昼食を選び一緒に食事を
するという活動を行つたことがあります。
同性の同年代の小グループで
ショッピングをしているときの表情
は、いつもより楽しそうに見えました。
大人になると親とは別に行動したいと
いう気持ちがあるのは当然です。そし
てこうした経験は、家族以外の人と闘
わる経験であり、自分の意思が尊重さ
れる経験であります。換言すれば、

は権利侵害がずっと長く続いてきた歴史ですが、戦後から現代にかけては徐々に権利獲得が進んでいる歴史であると言えます。我が国においても国連の障害者権利条約（二〇〇六）以降、障害者福祉制度の充実が図られてきていますが、障害者福祉サービスは本人の豊かな生活を送るための必要な合理的配慮であり、積極的に福祉サービスの活用を進めていきたいものです。

福祉サービスは親が樂をするためのものではなく、本人の生活を豊かにするものです。ぎりぎりまで親が障がいのある子どもの面倒を見て、限界が来たら施設やグループホームという考えは好ましいものではありません。「成人になつたら親から離れて暮らす生活」、「親が元気で動けるうちに福祉サービスを利用し、地域で暮らす」とを目指していきたいのです。

障がいのない人は普通にやっている生活です。障がいのある人も普通の生活ができるための条件整備が合理的配慮です。障害者差別解消法によつて合理的配慮を要求するのは当然の権利であり、行政や企業は合理的配慮を提供するのが義務となつています。

研修委員会報告

佐々木 洋一

令和六年度の研修委員会の活動報告をいたします。令和六年十一月八日、河内総合福祉センターにて「知的障がい者の豊かな生活を求めて」と題した研修会を開催いたしました。講師は池本理事長にお願いし、関連団体含め五十余名の方が参加されました。研修後のアンケートからは「障がい者の歴史」、「老障介護の問題」や「親と子の関係性」など分かり易くお話しいただき大変有益だつたとの感想を多くいただきました。また、令和六年二月八日、姿川地区市民センターにて職員向けの研修を行いました。「障害とは何か?& 障害者と関わる意味」と題し「ICF(生活機能モデル)の活用」について池本理事長からご講話をいただきました。ご講話の後に職員の方々が日頃作業所内で疑問に思っていたことや知りたかったことなどについて相互に意見や情報の交換を行いました。今後の仕事に役立つ多くのヒントが共有されたものと思います。

今年度の研修は、関連団体への声掛けや職員向けといった新しい試みを行い一定の成果が得られました。要望の多いテーマに沿って次年度以降も有意義な研修を計画していきます。



行事委員会報告

石川 順子

令和六年十一月十日、佐々木佳子様を講師に迎え、料理教室を開催致しました。ガパオライスと、さつま芋のレモン煮を作りました。

同年十二月二十二日、安部孝子様ご指導の下、お正月飾りを作りました。

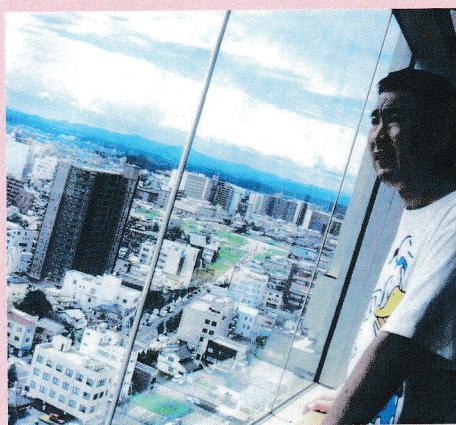
令和七年一月二十六日、新年懇親会を開催し、大嶋いづみ様による歌やトーケと、ビンゴゲームを楽しみました。





作業所だより 大曾作業所

寒い日も、暑い日も元気いっぱいの大曾作業所のみんな。一番好きな事はお仕事です。細かい作業もどんどんこなします。同じくらい好きな事は、外食したり取り寄せたりの食事会。メニューを選ぶ時の笑顔が見たくて、支援者はおいしいお店を捜し続けています。



階段 いいながめだなあ (15F展望フロア)



県庁に行きました！



誕生日おめでとう !!



和菓子作り体験



素敵な笑顔



蛸屋おかしパークにて



クリスマス会

かわら版

☆おめでとうございます

第十八回宇都宮市民福祉の祭典が
十一月二十三日に開催され、次の方が
表彰されました。

団体長表彰

藤野 一二様

☆ご寄付ありがとうございます

一月、(株)むぎくら様、(株)むぎくら麦親
会様よりご寄付をいただきました。



令和7年度行事予定

『栃木県障害者スポーツ大会』

五月二十五日(日)

栃木県総合運動競技場(予定)

『定期総会』

六月十五日(日)

宇都宮市総合福祉センター

『親子レクリエーション』

七月十三日(日)

アクアワールド大洗

『栃木県民福祉のつどい』

八月二十一日(木)

宇都宮文化会館

『うつのみやふれあい文化祭』

九月二十日(土)

宇都宮文化会館

『うつのみやふれあいスポーツ大会』

十月十八日(土)

ブレックスアリーナ宇都宮

『カルフルとちぎ』

十一月上旬(詳細未定)

宇都宮文化会館

『関プロ大会』東京大会

十一月八日(土)九日(日)

日本工学院専門学校

『料理教室』生チョコ作り

十一月十六日(日)

とちぎ福祉プラザ調理室

『宇都宮市民福祉の祭典』

十一月二十二日(日)

宇都宮市総合福祉センター・他

『交流会(ボウリング)』

十二月七日(日)

第一トーヨーボウル

『刺繡に挑戦してみよう』

十二月二十一日(日)

育成会事務局

令和八年一月(詳細未定)

☆お世話になりました

皆様からいただきましたご寄付は、
有意義につかわせていただきました。

多大なるご寄付をいただき誠にあり
がとうございました。

皆様からいただきましたご寄付は、
有意義につかわせていただきました。

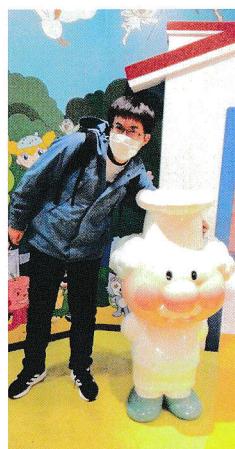
(株)むぎくら様、(株)むぎくら麦親
会様よりご寄付をいただきました。

荒井 仁美 様(第二戸祭作業所)
安齋 則子 様(第二戸祭作業所)
佐川 浩光 様(大曾作業所)



会員だより

加藤 智久



宇都宮市からのお知らせ

令和七年四月をもって、**福祉手当支**

払通知書の送付を終了します。

[対象者] 心身障がい者福祉手当また

は難病患者福祉手当を受給

している方

宇都宮市知的障害者育成会	
令和七年度 会費について	
正会員	四,〇〇〇円
賛助会員	三,〇〇〇円
団体賛助会員	一口 一万円

※この手当は、4・8・12月の15日に支給しています。8月以降の支給内容については、通帳などでご確認ください。

今年は巳年です。蛇は「脱皮」をすることから「再生」や「復活」につながる縁起の良い年と言われています。また、新しい事が始まる年とも言われます。農園芸班の作業を頑張っています。野菜やブルーベリーや花の苗など皆で育てています。

休みの日には、旅行に行きたいです。全国にある動物園、水族館、アンパンマンミュージアムに行ってみたいです。皆はグーフォ・かわちに通所しています。農園芸班の作業を頑張っています。「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」とも言われるようです。皆さんは何か始めたい事、復活したい事などありますか。私は六十、七十年代の歌謡曲を楽しんで気持ちが若返っています。

何かを始めて一回り成長していくましょう。

編集後記

今年は巳年です。蛇は「脱皮」をす

ることから「再生」や「復活」につな

がる縁起の良い年と言われています。

また、新しい事が始まる年とも言われ

ます。「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」

とも言われるようです。皆さんは何か

始めたい事、復活したい事などありますか。私は六十、七十年代の歌謡曲を

楽しんで気持ちが若返っています。

何かを始めて一回り成長していくま

しょう。

問合せ先 宇都宮市障がい福祉課
電話 (632) 2361

編集・発行

特定非営利活動法人
宇都宮市
知的障害者育成会
〒320-0053
宇都宮市戸祭町
2118番地
TEL・FAX
028-908-8680